

令和8年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学Ⅲ				
教科	数学科	単位数	4単位	学年・コース	高校3年 特別選抜(理系)
使用教科書	高等学校数学Ⅲ (数研出版)				
副教材等	4プロセス 数学Ⅲ+C				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

<p>目標 極限、微分法及び積分法についての理解を深め、知識の習得と技術の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。</p> <p>内容 1 数列や関数地の極限の概念を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 2 微分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。 3 積分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。</p>
--

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	数学Ⅲ	確認テスト	10月	第5章 積分法とその応用	確認テスト
	第2章 極限 第2節 関数の極限			第3節 積分法の応用	
5月	第3章 微分法 第1節 導関数	確認テスト 第1学期 中間考査	11月	入試問題演習	課題
	第2節 いろいろな関数の導関数	確認テスト			
6月	第4章 微分法の応用 第1節 導関数の応用	確認テスト	12月		第2学期 期末考査
	第2節 いろいろな応用	確認テスト 第1学期 期末考査			
7月			1月		
8月			2月		
9月	第5章 積分法とその応用 第1節 不定積分	確認テスト	3月		
	第2節 定積分	確認テスト			

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで実施

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

<p>評価は、次の観点から行います。</p> <p style="text-align: center;">①関心・意欲・態度 ②数学的な見方や考え方 ③数学的な技能 ④知識・理解</p> <p>このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への取り組み ・課題や提出物の状況 ・定期考査・提出レポートの内容・確認テスト <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">年間評定については、各学期の評価をもとに年度末に決定します</p>

令和8年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学Ⅲ(選択)				
教科	数学科	単位数	4単位	学年・コース	高校3年 進学(理系)
使用教科書	新編数学Ⅲ (数研出版)				
副教材等	3TRIAL 数学Ⅲ				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- 1 関数は数学Ⅲの学習に不可欠なものを扱う。
- 2 数列の極限、関数の極限、微分法とその応用、積分法とその応用についての理解を深めます。
- 3 基礎的及び相互関連的な知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばし、活用する態度を育てます。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第1章 関数 1. 分数関数 2. 無理関数 3. 逆関数と合成関数	確認テスト	10月	4. 関数のグラフ 5. 方程式、不等式への応用 6. 速度と加速度 7. 近似式 第5章 積分法とその応用	確認テスト 第2学期中間考査
5月	第2章 極限 1. 数列の極限 2. 無限等比数列 3. 無限級数 4. 関数の極限 (1)・(2)	確認テスト 第1学期中間考査	11月	1. 不定積分とその基本性質 2. 置換積分法・部分積分法 3. いろいろな関数の不定積分 4. 定積分とその基本性質 5. 定積分のいろいろな問題	確認テスト
6月	5. 三角関数と極限 6. 関数の連続性 第3章 微分法 1. 微分係数と導関数 2. 導関数の計算	確認テスト 確認テスト	12月	7. 面積 8. 体積	確認テスト 第2学期期末考査
7月	3. いろいろな関数の導関数 4. 第n次関数 5. 曲線の方程式と導関数	第1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月	第4章 微分法の応用 1. 接線の方程式 2. 平均値の定理 3. 関数の値の変化	確認テスト	3月		

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで実施

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います

① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 定期考査の結果
- ② 定期考査の結果
- ③ 課題の提出状況(問題集、プリント)、小テストの結果

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和8年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学C				
教科	数学科	単位数	2単位	学年・コース	高校3年 特別選抜(理系)
使用教科書	高等学校数学Ⅲ (数研出版)				
副教材等	4プロセス 数学Ⅲ+C				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

目標 平面上の曲線と複素数平面についての理解を深め、知識の習得と技術の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。
 内容 平面上の曲線がいろいろな式で表されることを複素数平面について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	数学C 第3章 複素数平面 複素数の極形式 ド・モアブルの定理 複素数と図形	確認テスト	10月	入試演習	課題
		確認テスト			第2学期 中間考査
5月	第4章 式と曲線 第1節 2次曲線	確認テスト	11月	入試演習	課題
		第1学期 中間考査			
6月	第2節 媒介変数表示と極座標	確認テスト	12月		第2学期 期末考査
7月		第1学期 期末考査	1月		
8月			2月		
9月	入試演習	課題	3月		

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで実施

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います。
 ①関心・意欲・態度 ②数学的な見方や考え方 ③数学的な技能 ④知識・理解
 このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。
 ・学習活動への取り組み
 ・課題や提出物の状況
 ・定期考査・提出レポートの内容・確認テスト

年間評定については、各学期の評価をもとに年度末に決定します

令和8年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学C(選択)				
教科	数学科	単位数	2単位	学年・コース	高校3年 進学(理系)
使用教科書	新編数学C (数研出版)				
副教材等	3TRIAL 数学C				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

ベクトル、数列について理解させ、数学的に物事を捉え考察・イメージし、発展させる能力を育成する。
 平面上の曲線がいろいろな式で表されることを複素数平面について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第1章 平面上のベクトル 1. ベクトル 2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分	確認テスト	10月	2. 複素数の極形式 3. ド・モアブルの定理 第4章 式と曲線 1. 放物線	確認テスト
5月	4. ベクトルの内積 5. 位置ベクトル 6. ベクトルの図形への応用		11月	2. 楕円 3. 双曲線 4. 2次曲線の平行移動 5. 2次曲線と直線	確認テスト
6月	7. 図形のベクトルによる表示 第2章 空間のベクトル 1. 空間のベクトル 2. ベクトルの成分・内積	確認テスト 確認テスト	12月	6. 媒介変数表示	第2学期期末考査
7月		第1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月	第3章 複素数平面 1. 複素数平面	確認テスト	3月		

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで実施

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います
 ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします
 ① 定期考査の結果
 ② 定期考査の結果
 ③ 課題の提出状況(問題集、プリント)、小テストの結果

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和8年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学研究(選択)				
教科	数学科	単位数	6単位	学年・コース	高校3年 進学(理系)
使用教科書	なし				
副教材等	大学入学共通テスト対策／基本と演習 数学I・A+II・B・C 標準演習 PLAN 100				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

共通テスト対策問題を解くことで数学 I A II Bの内容を復習するとともに
より細かいとらえ方・問題へのアプローチを学ぶ。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	数学Ⅱ 第1章 式と証明 第2章 複素数と方程式		10月	第4章 図形と計量	小テスト 提出物 第2学期中間考査
	第3章 図形と方程式				
5月	第4章 三角関数	小テスト 提出物 第1学期中間考査	11月	第5章 データの分析 数学A 第1章 場合の数と確率	
	第5章 指数関数と対数関数				
6月	第6章 微分法と積分法		12月	第2章 図形の性質	小テスト 提出物 第2学期期末考査
	数学B 第1章 数列				
7月	第2章 統計的な推測	小テスト 提出物 第1学期期末考査	1月		
8月			2月		
9月	数学Ⅰ 第1章 数と式 第2章 集合と命題		3月		
	第3章 2次関数				

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで実施

3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- | | | |
|-----------------|-------------------|---|
| ① 知識・技能 | [定期考査 |] |
| ② 思考・判断・表現 | [定期考査 |] |
| ③ 主体的に学習に取り組む態度 | [小テスト、提出物、授業中の取組 |] |

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和8年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学研究(選択)				
教科	数学科	単位数	2単位	学年・コース	高校3年 特別選抜(文系)
使用教科書	新編 数学C (数研出版)				
副教材等	3 TRIAL 数学C				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

目標 平面上の曲線と複素数平面についての理解を深め、知識の習得と技術の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用する態度を育てる。
 内容 平面上の曲線がいろいろな式で表されることを複素数平面について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第1章 平面上のベクトル 1. ベクトル 2. ベクトルの演算 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積	確認テスト	10月	3. ド・モアブルの定理 4. 複素数と図形	確認テスト 第2学期 中間考査
5月	5. 位置ベクトル 6. ベクトルの図形への応用 7. 図形のベクトルによる表示	確認テスト 第1学期 中間考査	11月	第4章 式と曲線 1. 放物線 2. 楕円 3. 双曲線 4. 2次曲線の平行移動	確認テスト
6月	第2章 空間のベクトル 1. 空間の点 2. 空間のベクトル 3. ベクトルの成分 4. ベクトルの内積	確認テスト	12月	5. 2次曲線と直線 6. 曲線の媒介変数表示 7. 極座標と極方程式	確認テスト 第2学期 期末考査
7月	5. ベクトルの図形への応用	確認テスト 第1学期 期末考査	1月		
8月			2月		
9月	第3章 複素数平面 1. 複素数平面 2. 複素数の極形式	確認テスト	3月		

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで実施

3. 評価の観点・方法及び年間の評定

評価は、次の観点から行います。
 ①関心・意欲・態度 ②数学的な見方や考え方 ③数学的な技能 ④知識・理解
 このため、評価は、具体的には次のものを対象とします。
 ・学習活動への取り組み
 ・課題や提出物の状況
 ・定期考査・提出レポートの内容・確認テスト

年間評定については、各学期の評価をもとに年度末に決定します

令和8年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	数学研究(選択)				
教科	数学科	単位数	2単位	学年・コース	高校3年 進学(文系)
使用教科書	新編 数学I (数研出版) ・ 新編 数学A (数研出版)				
副教材等	リンク問題演習 I+A				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

受験対策問題を解くことで、数学 I・Aの内容の復習と演習をしながら理解を深める。
扱う問題のレベルは、教科書の例題から教科書の重要な応用問題までとし、大学入試対策の基礎を学ぶ。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	数学 I 第1章 数と式	小テスト・課題提出	10月	数学A 第1章 場合の数と確率	小テスト・課題提出
5月	第2章 集合と命題	小テスト・課題提出	11月	第2章 図形の性質	小テスト・課題提出
	第3章 2次関数	小テスト・課題提出		12月	第3章 数学と人間の活動
6月	第4章 図形と計量	小テスト・課題提出	1月		
7月		第1学期期末考査		2月	
8月			3月		
9月	第5章 データの分析	小テスト・課題提出			

※ 高校3年生は第2学期期末考査まで実施

3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- | | | |
|-----------------|-----------|---|
| ① 知識・技能 | [定期考査 |] |
| ② 思考・判断・表現 | [定期考査 |] |
| ③ 主体的に学習に取り組む態度 | [小テスト・課題 |] |

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します